

テーマ

冷凍パン用の高速処理包装機の導入と発酵室・冷却機の増設による生産能力向上と売上拡大に向けての量産化体制の構築

千葉県学校給食パン・米飯協同組合 組合員企業 白鳥製パン株式会社

中央会では、「中小企業新事業活動促進法」に基づき中小企業者の「経営革新」への挑戦、取り組みを支援しています。

このコーナーでは、本会の会員組合の中から、自社の創意と熱意が込められた「経営革新計画」の策定にチャレンジし、千葉県知事から承認された企業をご紹介します。

経営革新計画とは？

「経営革新計画」とは、「中小企業新事業活動促進法」に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年の「ビジネスプラン」のことです。この計画を千葉県に申請して承認を受けると、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、課税の特例等の支援措置（新たな取り組みを公的にサポート）の対象となります。

このように、公的な支援策として使える施策があるならば、これを上手く活用しない手はありません。皆さまの組合でも、組合員企業の経営革新を実現するために、中央会をぜひご活用下さい。「経営革新計画」の策定は本

会が無料でお手伝いします。

申請のつややこは？

当社は、大正12年に白鳥パンとして創業、昭和27年に株式会社化し、昭和29年からは学校給食パンの製造を開始、給食炊飯も取り入れ、茂原市周辺を商圏に学校給食部門を中心に業務を行ってきました。また、平成元年からは冷凍ミニパン（一般のパンが1個約100gに対し、30g程度であり、複数個をまとめて袋包装して販売）部門に進出、現在では、冷凍ミニパン製造における当社の経験・ノウハウ等は、他社にはない大きな強みとしての評価を得ております（冷凍パン部門は当社全体売上高の約85%を占める）。

近年、冷凍食品に対するニーズも非常に高まっており、既存の主要顧客である生協向けのミニ揚げパン、プチメロンパンのほか、A社向けのカレーパン等の受注増加に加え、B社との本格的な取引開始によるミニ揚げあんぱん、C社（業務用冷凍食間屋）からのパターロールパン等の新製品の受注増加、さらには、ホットドック等新製品の開発・製造ニーズ等もあ

り、当社としては、早急に生産力を強化し、売上拡大に向けての量産体制を確立していく必要があります。

テーマ及び内容は？

1. テーマ

「冷凍パン用の高速処理包装機の導入と発酵室・冷却機の増設による生産能力向上と売上拡大に向けての量産化体制の構築」

2. 計画期間

▽平成22年1月～平成25年6月（4年計画）

3. 付加価値額の向上

▽計画時 150,343,495円

▽計画終了時の目標伸び率

169,494,571円（12・8%）

4. 内容

従来の生産設備は処理能力不足、老朽化等により生産能力がほぼ限界に達しており、受注の増加に対応するには機器の更新・設備の増強が急務でした。また当社では、労働力を（地域の主婦層（パート従業員）に依存しておりましたが、要員の確保が難しくなるなど、対策が必要でした。そこで、これらの課題を

解決し、冷凍ミニパン分野のトップ企業としての地位をより強固なものとするため、「冷凍パン用の高速処理包装機の導入と発酵室・冷却機の増設による生産能力向上と売上拡大に向けての量産化体制の構築」をテーマとした経営改善に取り組みました。

新たな取り組みの特徴は？

工場を拡張して、主要な製造設備を更新するなど、出来れば大幅なレイアウトの変更も含めて行いたいところでしたが、設備投資負担を考えると、現状では対応が困難でした。そこで、新たな受注増加に対応するためとして、以下の取り組みを優先的に行うこととしました。

(1) 高速処理包装機の導入

現状の約4倍の包装処理能力を有する高速処理と包装単位数に柔軟に対応可能な新鋭の包装機を導入↓同工程の工員を1シフト当たり1〜2名減員。

(2) 発酵室の増設

新たに10㎡程度の発酵室を設置↓処理能力を2倍に引き上げる。

(3) 冷却機の増設

現有の1台から2台体制とすることで、(1)〜(3)が効率的に機能↓生産性の向上。この取り組みにより、工場全体としての製造能力が50%以上アップすることに加え、省力化効果も期待でき、新たな受注増加への対応と厳しくなりつつある工員確保の問題にも

対応が可能となります。

今後の事業展開は？

今回の計画は、受注増加に対応するため、①高速処理包装機の導入、②発酵室の増設、③冷却機の増設を行い、売上拡大に向けての量産体制を確立すること、即ち、当社の中期経営計画として経営革新に取り組みものです。

経営革新計画期間である平成25年6月期までの4年間を、当社の次の大きなテーマである「新工場建設」のための準備期間と位置付け、強固な経営基盤の確立に挑戦したいと考えています。



包装機（縦ビロー）

社長さんの一言

中央会さんから経営革新計画のお話を伺った時に、弊社では川上の原材料から川下の製品に至る各工程の改善を模索中で、製造工程最後の包装能力の増強から取りかかろうと考えておりました。

行政や金融機関等の支援を受けられるとの説明を受けチャレンジする事としました。経営革新のサポートを受ける中で具体的な数値目標を含んだ3年から5年のビジネスプランができ、今まで漠然としていた事がハッキリと

してまいりました。

中央会から

アイディアをかたちにする「経営革新計画」を座右に置きビジネスを加速する。経営革新とは、激変する経営環境にアジャストするため、自ら新たな事業に挑み、経営目標を設定し、その経営の相当程度の向上を図ることをいいます。具体的には、事業活動に関連した新たな取り組みにより、他社とは異なる高付加価値商品やサービスを開発・提供することやIT技術等を活用した新たな生産方式や創造的なサービスの提供方式を導入することで、市場において「優位性」を確保し、より高次元の競争に勝ち抜いていくことなのです。

◎経営革新計画に係る相談は、本会経営支援部まで。☎04330632802



企業プロフィール

組合名：千葉県学校給食パン・米飯協同組合
企業名：白鳥製パン株式会社
代表者：白鳥 裕康
所在地：茂原市早野新田67番地
電話番号：0475-24-3551
資本金：20,000千円
従業員数：56名
業種：パン・菓子製造業
E-mail：jj1cwo@jeans.ocn.ne.jp
URL：—
承認年月日：平成21年12月
支援機関：千葉県中小企業団体中央会